

建築系学科設置高校における資格、検定試験の取り組みについて

(資格、検定試験のアンケート結果報告)

東日本建築教育研究会 資格取得推進委員会

建築系検定試験の経緯

建築系学科設置高校において、在学中に建築系資格取得ができない事が以前から指摘されてきました。(「2級建築士」「2級建築施工管理技術検定試験」は建築系高校を卒業後、建築に関する3年間の実務経験を経て受検資格が得られます。)そこで平成8年度(1996年)より、合格すると「2級建築施工管理技術検定試験」学科の一部が免除される「建築施工技術者試験」が新設され、高校の卒業学年を対象に受検できるようになりました。

施工系検定の一本化

建設業法が改正され、平成18年(2006年)より「建築施工技術者試験」は「2級建築施工管理技術検定試験」と一本化され、高校在学中に「2級建築施工管理技術検定試験」の学科受検ができるようになりました。

「2級建築施工管理技術検定試験」の構成

「2級建築施工管理技術検定試験」は学科試験と実技試験で構成されています。

高校在学中に「2級建築施工管理技術検定試験」の学科試験に合格すると6年間有効となります。

高校卒業後、3年間の建築に関する実務経験後、連続する2年間に実技試験が認められます。



鉄骨組立実習

写真は本委員会活動を紹介するもので、文章内容とは直接関係ありません。

富士教育センターで毎年実施している「建築系高校生徒体験実習」の様子です。本委員会の活動内容を理解していただく為に掲載しました。

学科試験受検のメリット

高校在学中に「2級建築施工管理技術検定試験」（以下、施工管理試験と略記）の学科試験が受検できる事は、**高校卒業後直ぐに施工関係の仕事に従事する生徒にとって有意義な試験**になっています。

受検の障害

「建築施工技術者試験」（以下、技術者試験と略記）の時には全国23会場で実施されていましたが、「施工管理試験」に一元化されてからは13会場に集約されました。このため受検の為に前日もしくは試験後に宿泊しなければならない生徒がいて、**以前よりも受験者が減少している傾向が見られます。**

有効期間の問題

学科合格の有効期限が6年間と定められているため、**進学した生徒の受検メリットが少ない状況**になっています。



足場組立に伴う測量実習

写真は本委員会活動を紹介するもので、文章内容とは直接関係ありません。

富士教育センターで毎年実施している「建築系高校生徒体験実習」の様子です。本委員会の活動内容を理解していただく為に掲載しました。

受検状況の実態調査アンケートの実施

新しい試験形態が実施され3年がたちました。そこで、本研究会の会員校（東日本の146校：愛知県、岐阜県、福井県より東に位置する建築系学科設置校）を対象に、**資格、検定試験の取り組み状況及び、指導されている先生方の考えを教える**ていただくために下記のアンケートを実施させていただきました。

アンケート結果の概要

未受検の学校が、本研究会の会員校 146 校のうち 46 校で全体の 31.5%になります。この一つの要因が受検会場の減少が上げられます。先生方からは会場増設を要望する意見があります。

試験内容も「技術者試験」の35問必修問題による解答形式から、「施工管理試験」は65問の選択解答形式に変わった為、試験範囲も以前に比べて広範囲となり合格する事が困難なため、指導している先生方の苦悩が伺えます。

今回のアンケートより、**本研究会の会員校、過去3年間の合格率は 22.2%**という事が分かりました。公表されている**全ての受検者を対象とした合格率(H18 年度:41.4%、H19 年度:46.7%、H20 年度:57.1%)と比べると低い**ことが分かります。

高校生以外の社会人等の合格率が 60%以上(高校生が受検する以前は H14 年度:62.7%、H15 年度:50.8%、H16 年度:63.7%、H17 年度:61.7%です) **と推測**でき、**高校生の合格は大変困難な状況にある**ことがわかります。

「施工管理試験」以外の資格、検定の取り組み状況については、各校の状況により様々なものに挑戦しています。

高校生の資格、検定試験の取り組み

工業高校では各校の状況に適した資格、検定試験に取り組んでいます。

資格、検定試験は体験的学習や知識の定着を目的に取り組み、合格する事は生徒の自信につながると考えています。また、進路希望実現や将来の仕事に必要なため取得を奨励しています。

今後の課題

多くの生徒が将来の事を考えて資格、検定試験に挑戦しようとしていますが、さまざまな試験が実施されている中、どの試験に取り組めば良いのかが明確に分らない状態だと思われれます。また、限られた学校生活の中でどのように指導していけば効率よく知識や技術、技能を習得させることができるのか悩まれている先生方も多いと思われれます。

アンケートの設問で「今後重点的に指導していきたい資格、検定等を3つ」教えていただきましたが、多くの学校が「施工管理試験」を上げています。

「施工管理試験」の高校生の合格率は、今回のアンケート結果から考えると、おそらく**20%強だと推測**されます。試験内容が広範囲から出題されるようになった関係もあり授業や放課後の補習等を行っても出題範囲を網羅する事は大変困難になっています。しかし、**高校在学中に多くの知識や技術、技能を身に付けておく事は、卒業後の実務や「建築士」受検にも役立つと考える先生方が多い**ため「施工管理試験」の指導に重点を置いています。

本委員会では「施工管理試験」を中心に、要望の多い資格、検定試験において、お役に立てる事があれば取り組んで行きたいと考えています。



型枠組立実習

写真は本委員会活動を紹介するもので、文章内容とは直接関係ありません。

富士教育センターで毎年実施している「建築系高校生徒体験実習」の様子です。本委員会の活動内容を理解していただく為に掲載しました。

アンケート集計結果

東日本建築教育研究会 資格取得推進委員会 資格指導に関するアンケート

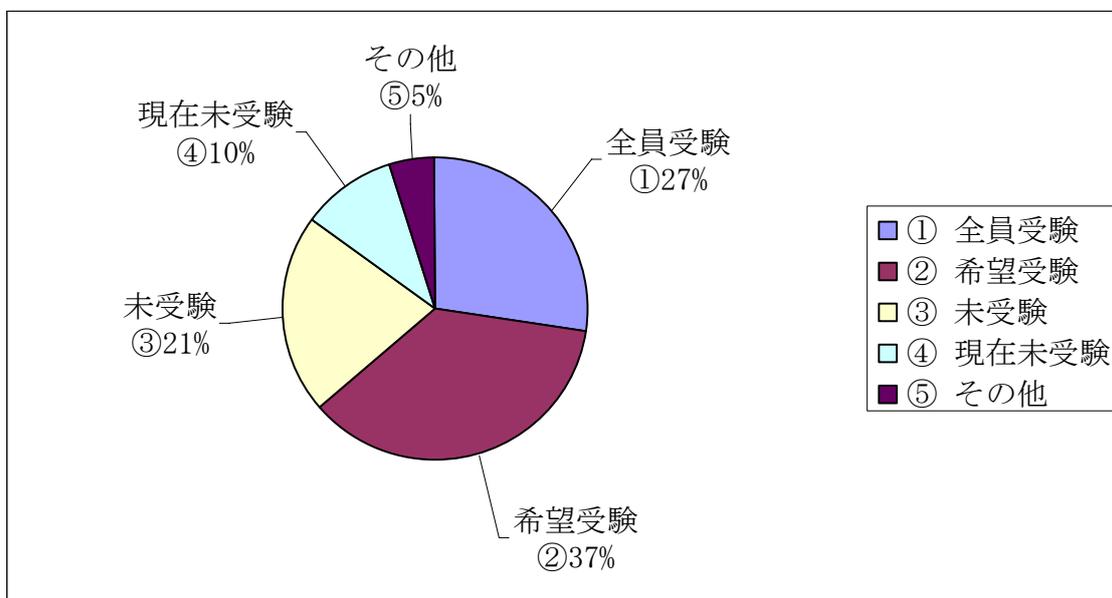
回答率 97.26% (142校/146校) アンケートへのご協力、ありがとうございました。

A 「2級建築施工管理技術検定試験」について教えてください。

1 平成20年度の受験状況について教えてください。

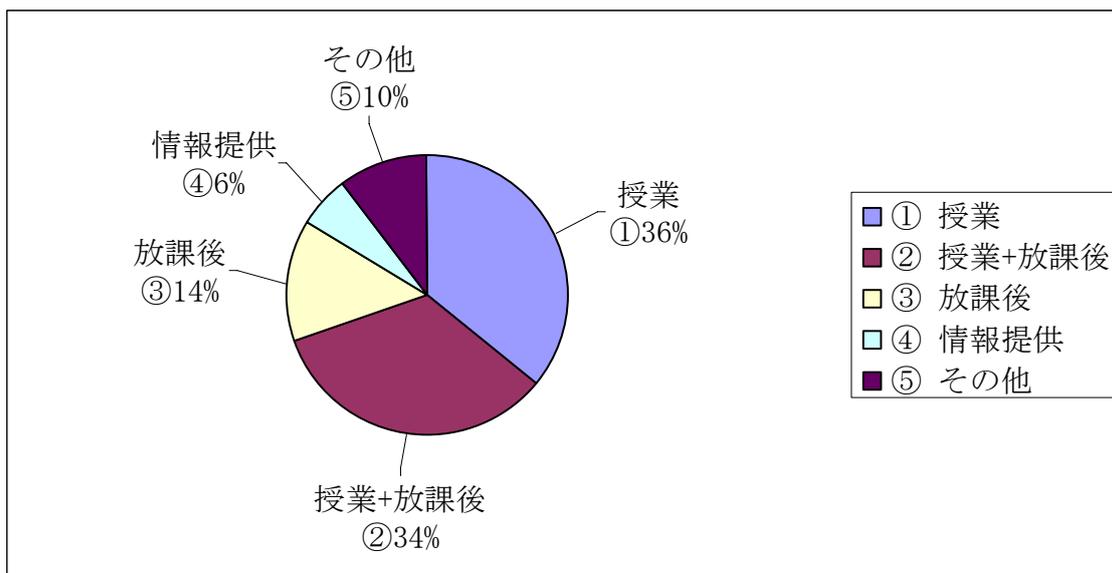
① 全員受験。	27%
② 希望者受験。	37%
③ 受験していない。	21%
④ 以前は受験していたが、今年を受験していない。	10%
⑤ その他 具体的内容	5%

○授業形態がコース制のため、該当生徒のみ受験



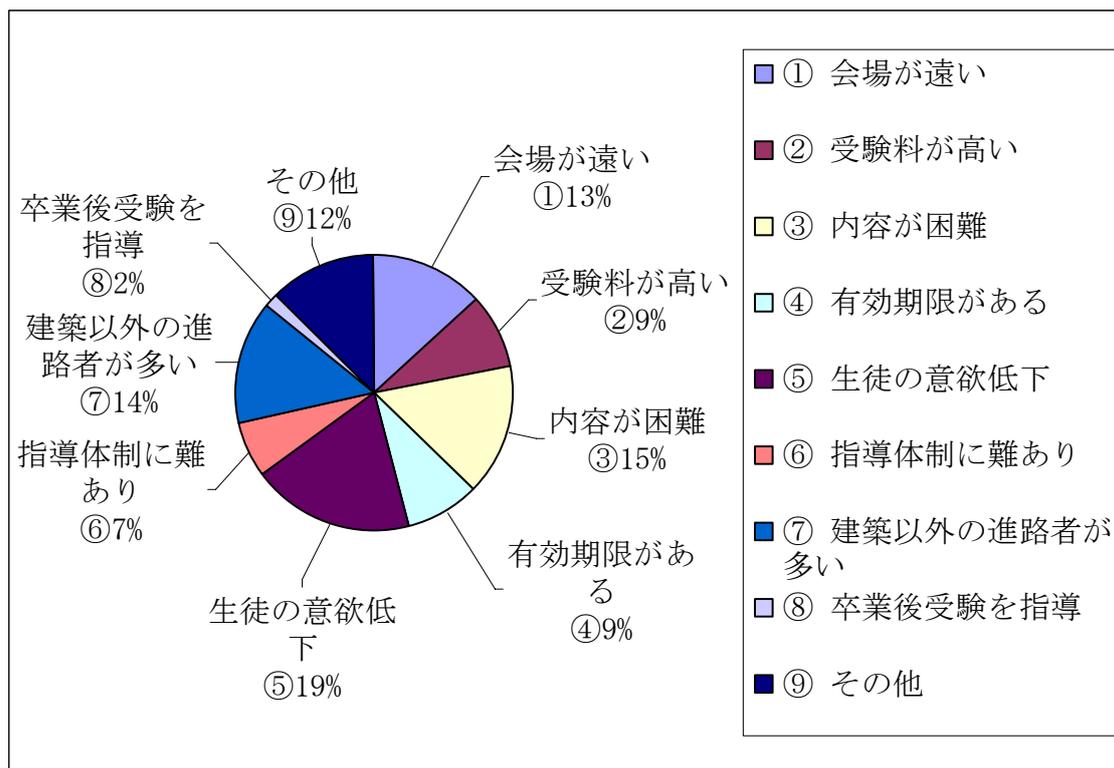
2 1の設問で①・②に○をつけた学校にお聞きします。指導体制について教えてください。

① 授業で指導。	36%
② 授業と放課後の指導で対応。	34%
③ 放課後の指導で対応。	14%
④ 情報提供はするが、指導はしていない。	6%
⑤ その他 具体的内容	10%



3 1 の設問で③、④に○を付けた学校にお聞きします。受験しなくなった理由は何ですか。(複数回答可)

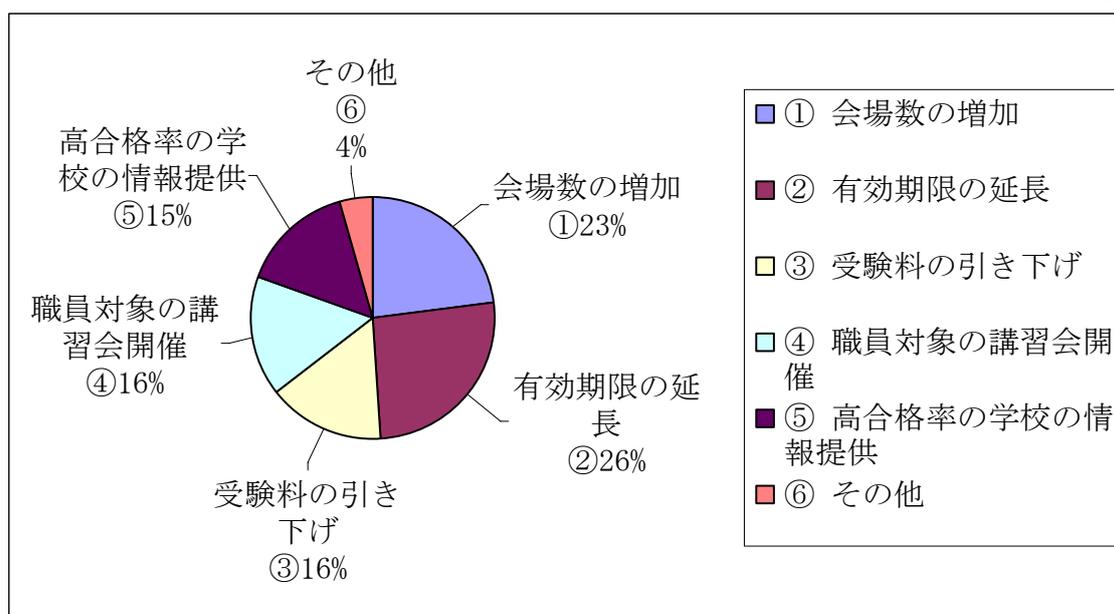
- | | |
|-------------------------------|-----|
| ① 受験会場が減って、受験地が遠くなったため。 | 13% |
| ② 受験料が高くなったため。 | 9% |
| ③ 問題内容が広範囲で難しくなったため。 | 15% |
| ④ 合格有効期限があるので、受験のメリットが少ないため。 | 9% |
| ⑤ 合格する生徒が少なく、生徒の意欲が低下したため。 | 19% |
| ⑥ 職員の指導体制が整わないため。 | 7% |
| ⑦ 建築以外の進路に進む生徒が多く、受験の必要がないため。 | 14% |
| ⑧ 卒業後に受験するように指導しているため。 | 2% |
| ⑨ その他 具体的内容 | 12% |
- 希望者がいなかったため。
 - ゼネコンへの就職者がほとんどいないため。
 - 本校生にとって内容が難しいため。
 - 生徒の能力、意欲、体制に無理がある。
 - 希望者がいれば指導する。
 - 生徒がこの資格を必要としていない。
 - ほとんどの生徒が4年生大学進学のため。
 - 合格する者がいない。
 - 希望する生徒が減少したため。



複数回答のため回答数にしめる割合で表示

4 今後、受験をするためにはどのような事を希望しますか。(複数回答可)

- | | |
|---|-----|
| ① 受験会場を増やして欲しい。 | 23% |
| ② 進学者等の事を考慮し、学科合格の有効期間を延ばして欲しい。 | 26% |
| ③ 受験料を安くして欲しい。(希望金額、19校の平均 2762円) | 16% |
| ④ 職員を対象とした試験内容の講習会を開いて欲しい。 | 16% |
| ⑤ 合格率の高い学校の指導状況を教えて欲しい。 | 15% |
| ⑥ その他 具体的内容 | 4% |
- 受験会場を早めに教えて欲しい。(観光バス、手配のため)
 - 合格発表の日程を早い時期にして欲しい。
(ジュニアマイスター申請締め切りに間に合うようにして欲しい)
 - 試験日をできるだけ遅くして欲しい。(12月頃を希望)
(すべての内容を教えきれないため)
 - ジュニアマイスター顕彰制度の点数を見直してほしい。建築施工技術者試験の12点のままであるが、上位の試験に移行した形になっているのでポイントを上げて欲しい。
 - 有効期限をなくして欲しい。



複数回答のため回答数にしめる割合で表示

5 「2級建築施工管理技術検定試験」の受験テーターについて教えてください。

	受験状況	受験 申込者数	実受験 者数	合格者数	アンケートの 合格率 % (本研究会所属の 高校生のみ)	全国 合格率 % (社会人等を含む)
平成 18 年	受 験 85 校 未受験 51 校	1878 人	1806 人	358 人	19.8%	41.4%
平成 19 年	受 験 91 校 未受験 46 校	2033 人	1934 人	329 人	17.0%	46.7%
平成 20 年	受 験 91 校 未受験 48 校	1849 人	1765 人	534 人	30.3%	57.1%
3 年間の 合計 (平均)		5760 人	5505 人	1221 人	22.2%	48.4%

アンケートの合格率は、合格者数/実受験者数で計算しています。
全国、3年間の合計合格率は、3年間の合格率を平均しています。

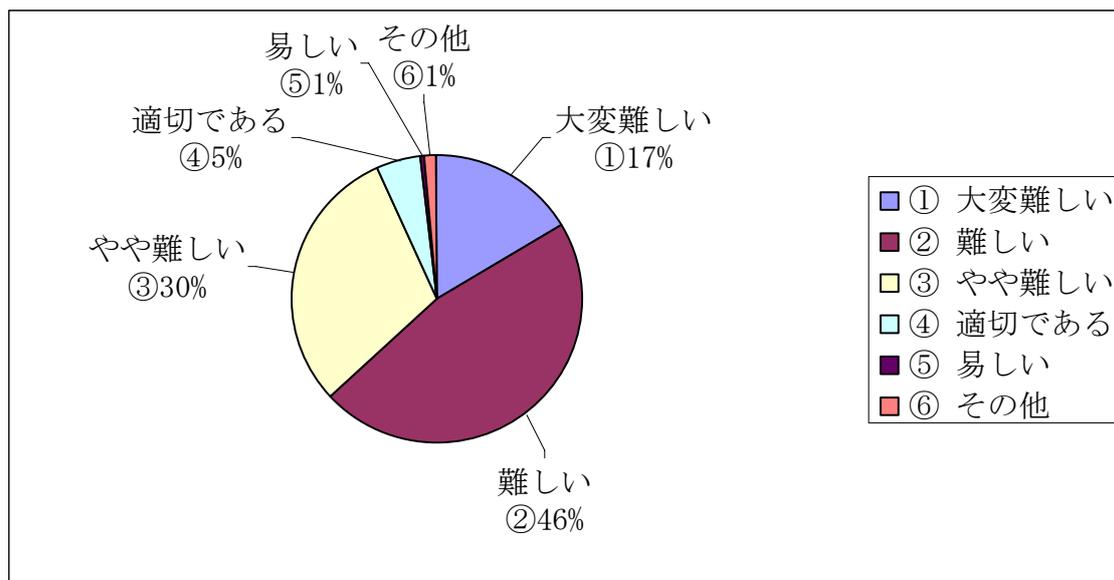
6 「2級建築施工管理技術検定試験」の問題内容について先生方の考えを教えてください。

(下記内容で、各先生個人の考え方に最も近いものを1つずつお選び下さい。)

アンケートにお答えいただいた職員数 790 人
(全職員に対する回答率 85%)

- | | | |
|---|----------------------|-----|
| ① | 高校生が受験する内容としては大変難しい。 | 17% |
| ② | 〃 難しい。 | 46% |
| ③ | 〃 やや難しい。 | 30% |
| ④ | 〃 適切である。 | 5% |
| ⑤ | 〃 易しい。 | 1% |
| ⑥ | その他 具体的内容 | 1% |

- 「2級建築士」試験の内容に近いため高校生としては難しい。従って、対策としては「2級建築士」の問題の内容も授業で取り入れ反復学習が重要と考えます。

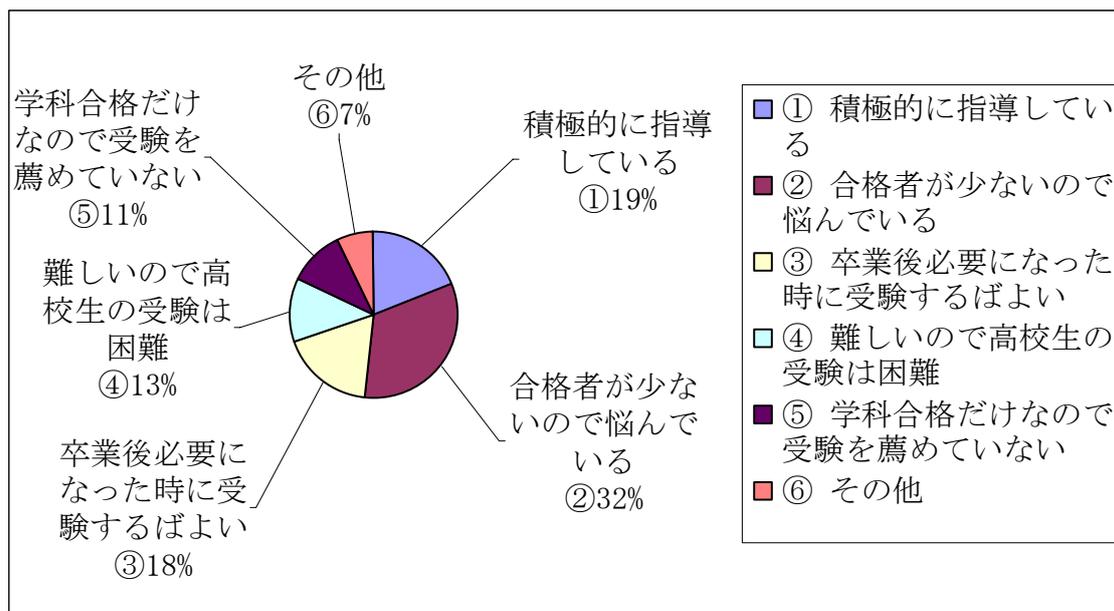


7 在学中の「2級建築施工管理技術検定試験」受験に対する先生方の考えについて教えてください。

(下記内容で、各先生個人の考え方に最も近いものを1つずつお選び下さい。)

- | | |
|-----------------------------------|-----|
| ① 在校中に学科受験が可能になったので、積極的に指導している。 | 19% |
| ② 受験指導をしているが、合格者が少ないので悩んでいる。 | 32% |
| ③ 在学中は基礎基本を教え、卒業後必要になった時に受験すればよい。 | 18% |
| ④ 試験内容が難しいので高校生の受験は困難である。 | 13% |
| ⑤ 学科合格だけでは資格としての効力がないので受験を薦めづらい。 | 11% |
| ⑥ その他 具体的内容 | 7% |

- 積極的に指導したい。
- 受験を薦めるべきか悩んでいる。
- 進路が多岐に渡り全員に対しての資格指導は難しい。
- 施工が選択授業なので指導しづらい。
- 生徒の費用負担が大きい。
- 今まで実施していた「施工技術者試験」のような形式に戻して欲しい。
- 授業で全てを教えるのが時間的に難しい。
- 進学者に対するメリットが少ないので薦め方が難しい。
- 学科合格に有効期限があるため薦めづらい
- 試験時期が学校行事と重なってしまう事が多く、補習等ができないので少し遅めにしたい。
- 本校のカリキュラム上建築全般について3年生の11月に受験するのは少し無理がある。
- 受験地が遠いことや旅費がかかるので斡旋しづらい。
- 建築現場で必要な資格だと思う。



B 1 「2級建築施工管理技術検定試験」以外の建築系資格、検定試験で取り組んでいるものはどれですか。(複数回答可)

取り組みが多い資格、検定順に掲載しました。
パーセンテージは回答校に対するものを表します。

- | | |
|--|------|
| ① 車両系建設機械運転技能者（フォークリフト等を含む） | 52% |
| ② CAD関係（建築CAD検定、CAD利用技術者、CADトレース技能審査） | 42% |
| ③ 福祉住環境コーディネーター3級 | 35% |
| ④ 技能士（建築大工）3級 | 30% |
| ⑤ その他 具体的内容 | 29% |
| 電気工事士、消防設備士、トレース技能検定、宅地建物取引主任者
 レタリング技能検定、計算技術検定、危険物取扱者試験、パソコン検定
 甲種火薬類取扱保安責任者、初級CAD(全国工業校長会)
 アーク溶接特別教育、ガス溶接技能講習、小型フォークリフト
 2級土木施工管理技術検定試験、情報技術検定、エコ検定
 技能士(建築配管)3級、消防設備士、日商簿記3級、高所作業車
 職長教育講座、 Gondola、小型車両、締め固め・第二種電気工事士
 2級建築士(社会人もいるので)
 建築技術検定(福島県と栃木県で、それぞれ独自に実施)
 建築製図検定(栃木県独自実施) | |
| ⑥ 玉掛け | 24% |
| ⑦ 運転士（クレーン、デリック、移動式クレーン） | 21% |
| ⑧ 福祉住環境コーディネーター2級 | 12% |
| ⑨ 色彩関係（色彩士検定、カラーコーディネーター、色彩検定） | 11% |
| ⑩ 基礎製図検定 | 9.2% |
| ⑪ 測量士補 | 8.5% |
| ⑫ 技能士（建築大工）2級 | 8.5% |
| ⑬ 技能士（とび）3級 | 4.2% |
| ⑭ 技能士（とび）2級 | 2.8% |
| ⑮ インテリアコーディネーター | 2.1% |
| ⑯ 測量士 | 0.7% |

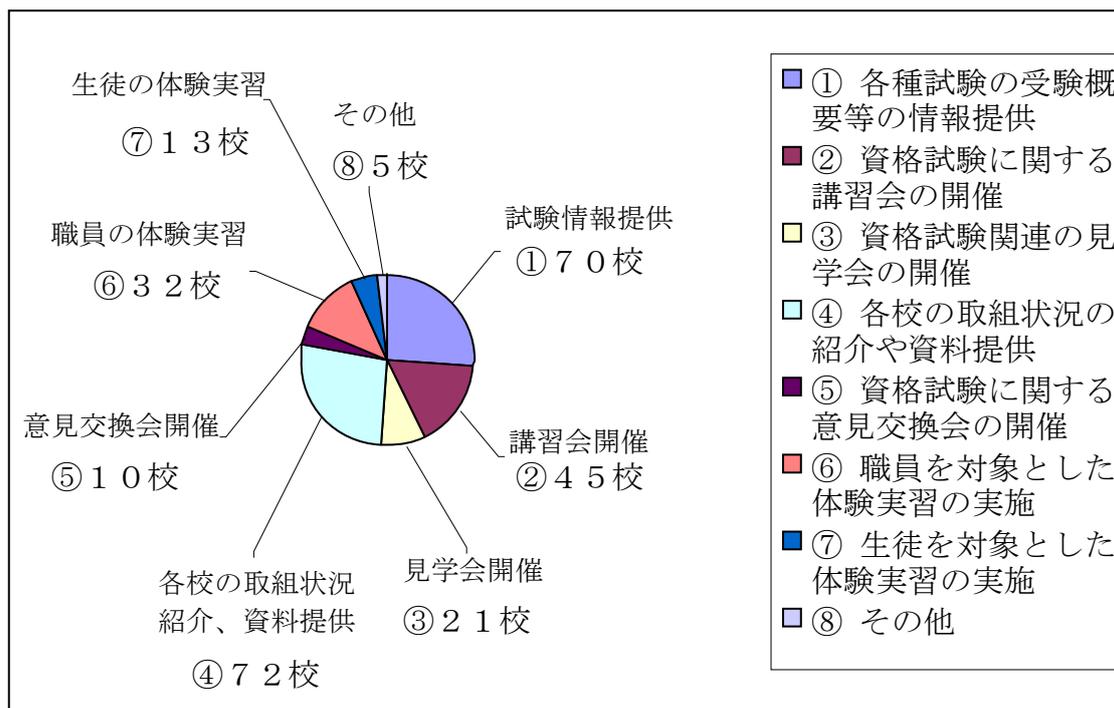
B 2 今後、特に重点を置いて、生徒に指導していく資格や検定試験を3つ教えて下さい。

回答数の多かった資格、検定順に掲載しました。

1	2級建築施工管理技術検定試験	64校
2	CAD検定関係	37校
3	技能士(建築大工)3級	34校
4	福祉住環境コーディネーター3級	23校
5	車両系建設機械運転技能者	16校
5	計算技術検定(1級~4級)	16校
7	危険物取扱者 乙種・丙種	11校
8	トレース技能検定	9校
8	技能士(建築大工)2級	9校
10	福祉住環境コーディネーター2級	9校
11	レタリング技能検定	8校
12	技能士(とび)3級	7校
13	基礎製図検定	6校
13	玉掛け	6校
13	情報技術検定(2級、3級)	6校
16	測量士補	5校
17	技能士(とび)2級	4校
18	パソコン検定	3校
18	2級土木施工管理技術検定	3校
18	アーク溶接特別教育	3校
21	ガス溶接技能講習	2校
21	初級CAD検定	2校
21	色彩関係	2校
21	クレーン等の運転士	2校
21	日本語ワープロ検定	2校
21	2級建築士	2校
27	消防設備士	1校
27	宅地建物取引主任者	1校
27	技能士(配管)3級	1校
27	有機溶剤作業主任者	1校
27	測量士	1校
27	インテリアコーディネーター	1校
27	工業校長会の検定	1校
27	建築技術検定(福島県独自の検定) (福島県高等学校教育研究会工業部会主催)	1校

C 1 本委員会に対する要望を教えてください。(複数回答可)

①	資格試験に関する各種試験の受験概要等の情報提供。	70校
②	資格試験に関する講習会の開催。	45校
③	資格試験に係る内容に伴う見学会の開催。 (例：福祉住環境コーディネーターに関連した バリアフリー住宅の見学等)	21校
④	資格試験に関する各校の取り組み状況の紹介や資料提供。	72校
⑤	資格試験に関する意見交換会等の開催。	10校
⑥	職員を対象とした体験実習の実施。	32校
⑦	生徒を対象とした体験実習の実施。	13校
⑧	その他	5校



複数回答のため回答校にしめる割合で表示

①～⑧に対する具体的な内容

- 該当番号① 資格試験に関する各種試験の受験概要等の情報提供。
- ホームページに掲載して欲しい。
 - 合格率等の配布をして欲しい。
 - 「技能士(建築大工)2・3級」の試験内容。
 - 建築関係又は、建築関係に近い資格試験に関する内容、概要、情報等。
 - 建築系生徒が受験可能な資格(国家、公的、民間資格)全てを一覧にしたものがあるととても便利。
 - 資格の内容紹介、受験方法などを教えていただけると幸いです。
- 該当番号② 資格試験に関する講習会の開催。
- 2級建築施工に関する講習を夏休みに組んで欲しい。
 - 法規分科会でも取り組み、今後実施されるが、ワークノートを作成し各校で利用できるようにする。(そのための見学会・講習会は必要)
 - 富士市で行われている講習会(技能含む)に魅力を感じるが、遠距離や経費の問題から参加が難しい。
 - 講習会の回数を多くし、費用を安くして欲しい。
- 該当番号③ 資格試験に関係する内容に伴う見学会の開催。
- 生徒に興味関心を持たせる為。
 - バリアフリー建築の見学。
- 該当番号④ 資格試験に関する各校の取り組み状況の紹介や資料提供。
- 良いノウハウを共有できるようにして欲しい。
 - 各校の取り組み状況を教えていただきたい。
- 該当番号⑤ 資格試験に関する意見交換会等の開催。
- どの資格が生徒のためになるか。
- 該当番号⑥ 職員を対象とした体験実習の実施。
- 現場見学を含め、直接見て学ぶ機会を多くして欲しい。施工に関する研修を実施して欲しい。

○生徒に指導するためのポイントを職員も実習で体験。(建築大工)

- 該当番号⑦ 生徒を対象とした体験実習の実施。
- 「**2級建築施工管理技術検定試験**」(学科)合格率の高い学校が授業や放課後等どのような授業内容でどんなテキスト教材を使用しているのかを情報交換する場や講習会を希望している。
 - 学科合格の有効期限が以前のように永久有効になるように働きかけて欲しい。

- 該当番号⑧ その他
- 本研究会、総会の1つの分科会テーマとして、資格試験の取り組みについて各校の意見交換をする場を設けて欲しい。
 - 「**2級建築士**」ではなく、「**木造建築士**」の高校在学中の学科受験認定に取り組んで欲しい。

全体

- それぞれの資格の取り組み状況や合格人数などの資料が欲しい。
- 多くの入学生に、建設に興味関心を持たせるための指導が先決である。
- 出張旅費が出ないので資料等の提供をして欲しい。
- 高校生対象の解説付き受験用テキストを提供して欲しい。
- 各校の取り組み状況をホームページで紹介されると良い。
(今回のアンケートが分かる程度でよい)

2 その他、ご意見ご要望がありましたらご自由にお書き下さい。

- ① 特になし 85.2%
- ② 意見あり 14.8%

- 現状として資格指導を重視して授業を展開する考えは今の所ないが、資格に関する動向、情報は常に知っておきたい。
- 「**建築士**」を目指したい生徒は多いが試験制度が高度化、難易度上昇で難しくなっている。在学中に受けられる資格が(建築系)少ないので生徒の資格取得への目的意識が薄れがちである。
- 建築系でジュニアマイスターのゴールドが取得できるため、資格一覧をお願いいたします。東日本建築教育研究会(全国高等学校建築教育連絡協議会)で資格をつくって欲しい。例・・・建築技術検定(福島県で実施)
- 各校で競い合い、県全体のレベルアップを計りたい。そのためのデータの共有も必要と思う。
- 今回の建築士法の改正に伴い教育者(建築科教員)の1級建築士の実務経験が認められないこととなった。このことは将来の建築教育界を考えたとき、憂いを禁じえないなんとか実務経験として認めて欲しい。そのような波を東日本建築教育研究会から発信できないだろうか?検討をお願いしたい。
- 履歴書との関係もあり資格取得には時間をさいていますが、現実として本来の建築実習が少しずつ、おろそかになっているのも事実だと感じています。
- 「**木造建築士**」の受験が高校生でできるようになれば、この資格も活性化すると思います。
- 卒業後建築の分野に進路を決める生徒が少なくなっている。今まで通りの内容でよいのか悩みながら授業をしているのが現状である。
- 分野別、科目別合格を実施し全科目合格で正式合格制度を検討して欲しい。1、2年生対象の基礎試験を業界で推進して欲しい。
- 「**二級建築士**」学科試験科目による全国標準テストを第三学年後期の時期に実施できないか。
- FAXで学校長宛の文章を出さないで欲しい。学校の情報(2級建築施工管理試験結果)をアンケートで出すのは、いかかなものかと思う。
- 他県の定時制の取り組みについて教えて頂ければうれしい。
- 「**建築技術者試験**」の時は、受験地が近くにあり全員受験させる事ができました。

社会状況と少子化に伴い、受験者も少なくなりました。また、今年度から本校はコース制になり、教員数も少ない受験に対する指導が困難になっています。

- 数年前より生徒の現場管理の希望が殆どなくなった。この中で在学中に受けたとしても実務経験が必要で半端な資格となるため受検を進めにくい。

写真は本委員会活動を紹介するもので、文章内容とは直接関係ありません。

富士教育センターで毎年実施している「建築系高校生徒体験実習」の様子です。本委員会の活動内容を理解していただく為に掲載しました。



鉄筋配筋実習



足場組立実習

今後の活動について

以下の内容を中心に、アンケートでご意見、ご要望いただいた内容について、一つでも多くの事が実現できるように、本委員会として何ができるか検討させていただきます。

具体的な活動内容が決定しましたらホームページ等で報告させていただきます。

今後、特に重点を置いて、生徒に指導していく資格や検定試験のアンケート結果では

1	2級建築施工管理技術検定試験	64校
2	CAD検定関係	37校
3	技能士（建築大工）3級	34校
4	福祉住環境コーディネーター3級	23校
5	車両系建設機械運転技能者	16校

でした。

そこで本委員会では、
「2級建築施工管理技術検定試験」の
取り組みを中心に活動を検討しています。

「2級建築施工管理技術検定試験」についての問題点

① 受検者数の減少について

アンケート結果より、会員校の約1/3の学校が未受検ということが分かりました。受検地が遠くなってしまった事や、学科合格の有効期限があるため受検を薦めづらいなど様々な意見を頂きました。

② 情報交換について

多くの学校が、合格者が少ない事に悩んでいることが分かりました。他校の取り組みの状況を知りたいという意見も多数あります。

③ 講習会の開催について

多くの学校が講習会開催を希望していますが、日程や出張旅費等の関係でなかなか参加できない事が分りました。

その他の資格、検定試験について

各校の状況により様々な資格、検定試験に挑戦していることが分かりました。高校生が受検する資格、検定試験として何が適切なのか、悩んでいる事も分りました。

各校の取り組みが、多岐にわたるため重点的に取り組むべき資格、検定試験について検討させていただきます。

最後まで、ご覧いただき、ありがとうございました。
アンケート結果を今後の活動に生かしていきたいと思っております。